

家族のコミュニケーション、誰と何でつながっている？

家族のEライフ 調査 速報

～妻への連絡は70%以上がケータイから～

このたび、株博報堂のバーチャル研究会、「ポケットeライフラボ」による「家族のEライフ調査」の速報値が出ましたので、ご紹介いたします。本調査は家族・親戚の間で、情報通信機器がどのように使われているのか、主要コミュニケーション相手、主要なコミュニケーションツール等について、首都圏に住む18～76才の男女402名を対象に、2002年1月末に実施したものです。

ケータイの普及、インターネットやPCの普及など、今や生活の中にはさまざまなコミュニケーション手段が出現しています。博報堂では、これらの通信手段を用いた生活を「Eライフ」と呼んでいますが、今後も、「家族」における「Eライフの実態」について引き続き調査する予定です。

なお、今回の速報の詳細は、4月上旬以降にホームページ (www.pocket-e-life.com) にて発表予定です。

<調査結果 トピックス>

- 家族・親戚のEライフは 「女系」中心。家族情報は女に集まる。
- ケータイは、夫婦・家族をつなぐ。
- 若者が使いこなす、ケータイメール。
- 普通の電話は女性主導。嫁姑間では、もっともメジャーな通信機器です
- パソコンメールは 遠い親戚と。
- 家族のケータイルール。「外出時は必ず持ち歩く」をルール化しているのは3分の2。

<調査概要>

- 調査名：家族のEライフ実態調査
- 調査実施時期：2002年1月
- 調査対象：首都圏半径40km圏内18～76歳男女402サンプル
全人口分布に沿って、年齢性別割りつけ

ポケットeライフラボとは：www.pocket-e-life.com

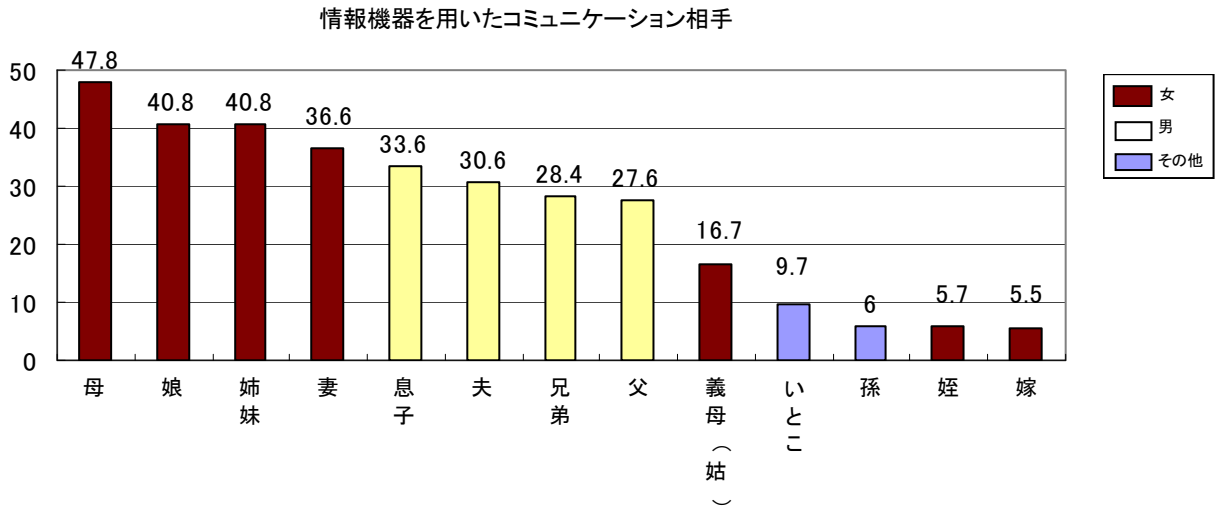
いま世界で最もホットな業界であるケータイを、生活者の視点から調査研究していくことを目的に博報堂内で結成されたバーチャル組織。サイト会員もケータイ業界を中心に1500余名を超える。

<本件に関するお問い合わせ>

株博報堂	広報室	宮川・寺島	tel 03-5446-6161
			fax 03-5446-6166
			e-mail: NAOKO.MIYAGAWA@hakuohodo.co.jp
	第4スタジオアップリング局	吉川	tel 03-5446-8565

● 家族・親戚のEライフは 「女系」 中心。家族情報は女に集まる。

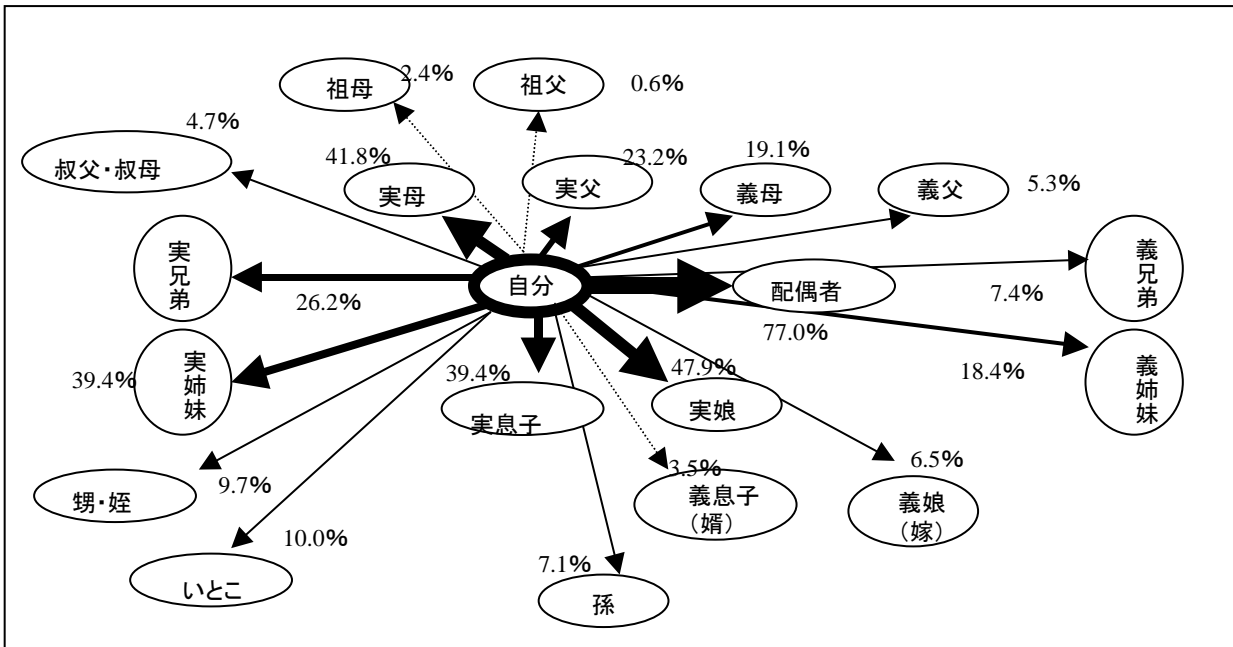
「通信機器を使ってコミュニケーションを取っている相手」を頻繁に取っている順にベスト5まで選んでもらいました。その結果、トップは、「母」(47.8%)。以下、「娘」「姉妹」「妻」と女性が続きます。家族の「情報」が女性を中心に回っていることが良くわかります。



① 既婚者のコミュニケーション相手は「配偶者」「実娘」「実母」の順。やはり女系です。

上記データを、既婚者に絞って、家族内での通信機器を用いたコミュニケーションの相関図を描いてみました。最もコミュニケーションをとっている相手は「配偶者：77.0%」、続いて「実娘：47.9%」、「実母：41.8%」となり、全体傾向と同じく、女系を中心に出来ています。それ以外でも「実姉妹：39.4%」「義母：19.1%」など、同じ関係の男系よりも明らかにコミュニケーション率が高いことが分かりました。また、「祖父」や「婿」などは情報網から孤立しがちな傾向があるいっぽう、「いとこ」「甥・姪」「叔父」「叔母」など、やや遠い家族関係において意外に密なコミュニケーションがあるようです。

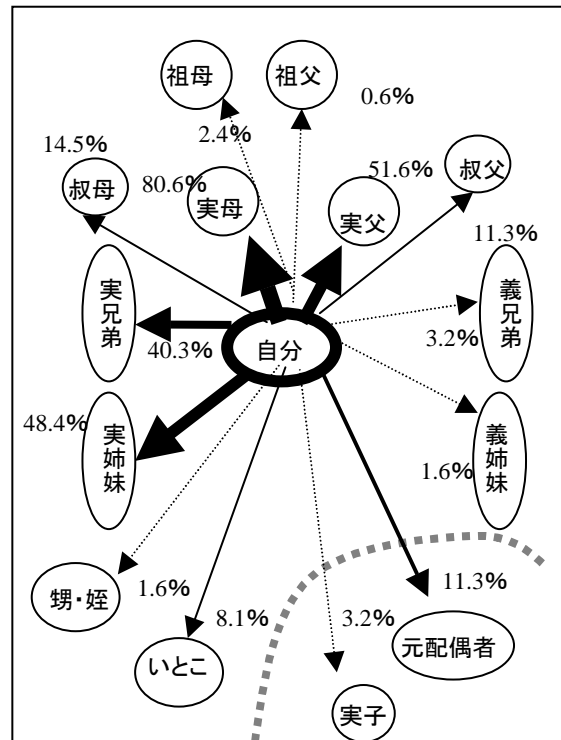
【既婚者における家族内での情報機器コミュニケーション】



② 単身者が最も良くコミュニケーションしているのは「母親」。(80.6%)

いっぽう単身者(未婚者+離婚死別者)でも同じような相関図を描いてみるとここでも「実母: 80.6%」への圧倒的なコミュニケーションが読み取れ、「実父: 51.6%」に大きく差をつけています。それ以外では、実の兄弟や姉妹へのコミュニケーションが多くなります。また、離婚者における「元配偶者: 11.3%」とのコミュニケーションも意外に高く、「Eライフ」はバツイチ者の生活もつないでいるようです。

【単身者における家族内での情報機器コミュニケーション】



●誰と 何で コミュニケーションしている？ 相手によって、使い分けしています。

「通信機器を使ってコミュニケーションを取っている相手」について、「もっとも良く使う通信手段はなにか」を聞いてみたところ、相手によって、利用されている通信機器に違いがあり、いろいろな使い分けがされていることがわかりました。

以下、「携帯電話(ケータイ)」「携帯電話を使ったメール(ケータイメール)」「普通の電話を用いた通話やファックス」「パソコンを使ったメール(パソコンメール)」の4つの通信機器それぞれが「誰とのコミュニケーションで使われているか」についてまとめました。

①ケータイは、夫婦・家族をつなぐ。

相手とコミュニケーションを取るときにどんな通信手段を用いるか、ケータイ(携帯電話)のスコアの高い順に見てみると、「妻」(57.1%)「夫」(47.2%)「娘」(47.9%)「息子」(45.9%)の順で、もっともよく利用されていることがわかります。特に、妻への連絡は、「ケータイメール: 16.3%」とあわせると、70%以上の夫が妻との連絡はケータイ発で行っていることとなります。ケータイの普及に伴い、家族をつなぐツールとしてのケータイの役割は大きいようです。

②若者が使いこなす、ケータイメール。同年代間で、使用されています。

ケータイメール(携帯電話でのメール)を主なコミュニケーション手段としている相手は、「姉妹」(22%)「いとこ」(20.5%)「夫」(17.1%)「妻」(16.3%)など、全体的に「若い相手」に対する手段として使われています。また、対象を若者に絞るとこの傾向はより顕著になり、10~20代では、55.8%が「姉妹」に対してもっとも良く利用するコミュニケーションは「ケータイメール」と答えています。

特徴的なのは、同じ「きょうだい」でも、「女きょうだい（姉妹）」と「男きょうだい（兄弟）」とで、スコアに差がある点。同年代女性には「文字」でコミュニケーション…という図式があるようです。

③ 普通の電話は女性主導。嫁姑間では、もっともメジャーな通信機器です。

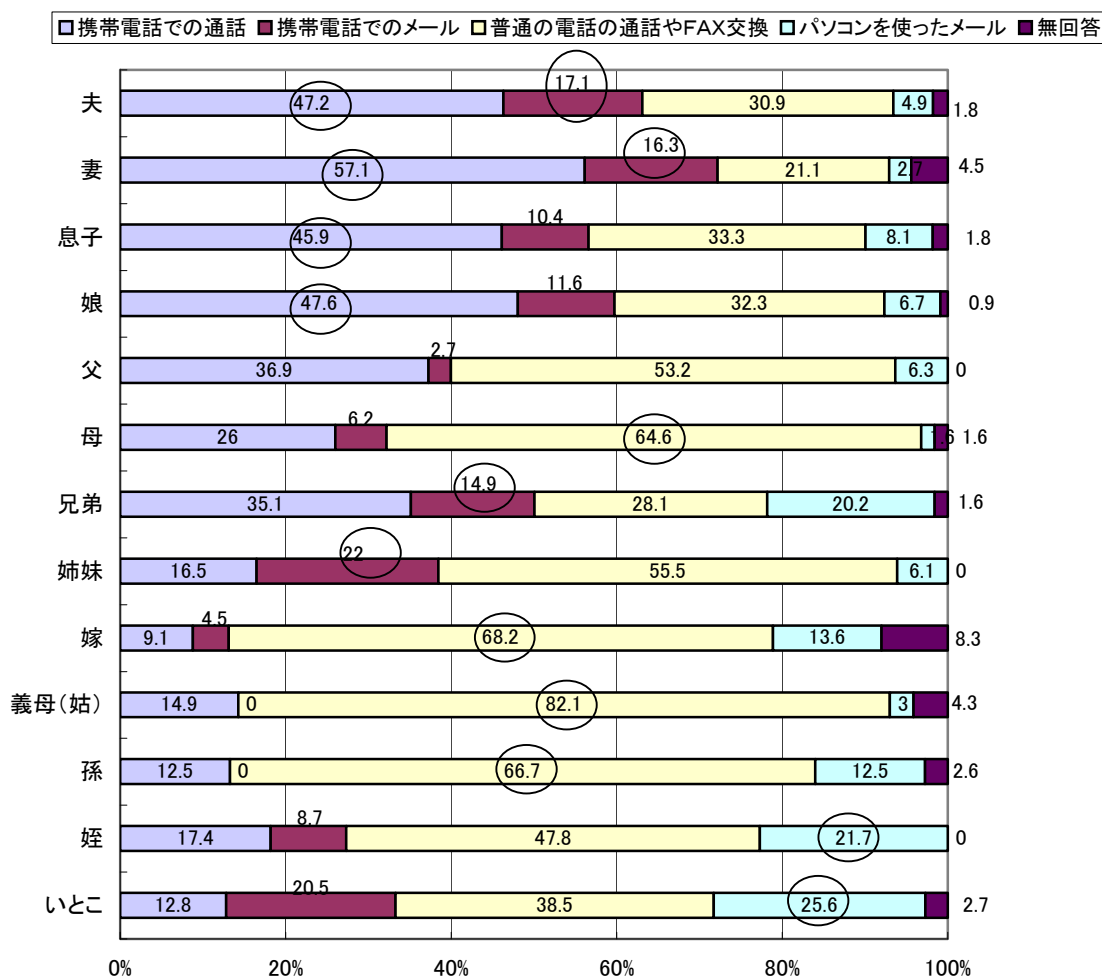
普通の電話の通話は、圧倒的に女性主体で、「義母」（82.1%）「嫁」（68.2%）「孫」（66.7%）「母」（64.6%）の順に高いスコアです。女性のほうが家庭に多いこと、長電話が多いことなどが、その理由と考えられます。

また、いわゆる、嫁・姑の間の通信では、もっぱら「普通の電話」が利用されているようです。「個人」の色合いが濃い「携帯電話」や「携帯メール」ではなく、あくまでも「家」を意識した、コミュニケーションが確立しているようです。

④ パソコンメールは 遠い親戚と

パソコンメールを主要な通信手段としている率が高いのは、「いとこ」（25.6%）「姪」（21.7%）と、遠い親戚が上位に上がっています。これらの人々は、そもそも「コミュニケーションをしている」人も少ないのですが、「コミュニケーションする場合」には、「パソコンメール」。パソコンを利用したコミュニケーションラインができあがっているようです。

コミュニケーション相手ともっとも良く使う通信手段



● 家族のケータイルール。「外出時は必ず持ち歩く」をルール化しているのは3分の2。

最後に、浸透著しいケータイにおける、家族内での「使い方のルール」をいくつかあげ、支持の多かったものからランキングしてみたところ、下図のようになりました。もっとも多かったのは「外出時は必ず持ち歩く」(64.4%)で、以下「自分の携帯料金は自分で払う」(44.3%)、「必ず電源を入れていつでも呼び出せるようにしておく」(43.0%)「帰りが遅いときには携帯をかける」(41.5%)と続きます。

ケータイの普及により、家族同士が「いつでもつながってられる」ということをケータイの利点と捉え、それを活かすこと=家族のつながりを保つための行為をケータイのルールに求めると分析できます。

一方で、料金は自己責任といった人が多かったり、通話への干渉を避けるなど、個人個人の生活を重視する流れも見られ、「個人」と「家族のつながり」のバランスを上手に取ろうとしているようです。

家族の携帯ルール

